

学年・教科・担当者	2年	音楽科	小池 基文
-----------	----	-----	-------

学期	月	学習内容	学習のねらい
1	4	歌詞の内容や全体の響を生かして	歌詞の内容や曲想，声部の役割や全体の響を生かして表現を工夫する。
	5	鑑賞	声部の多声的な重なり方の知覚・感受を通して，多声音楽のおもしろさを知る。
	6	「フーガ ト短調」 表情豊かな歌唱表現	曲のもつ情緒を味わい，それを支える音楽を形づくっている要素を知覚・感受し，表現を工夫する。
	7	音楽の構成を工夫して	さまざまな音素材の特徴を生かして，音楽の構成を工夫する。
2	9	音楽の構成を生かして	声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解し，音楽の構成を生かした表現を工夫する。
	10	合唱表現の工夫と指揮	曲の味わいや特徴を支える速度や強弱の変化などの働きを知覚・感受して，表現を工夫する。 指揮を通して表現の工夫をする。
	11	鑑賞 「交響曲第5番ハ短調」	モチーフ（動機）がどのように使われているのかを探りながら「ソナタ形式」のしくみを理解し，それが西洋音楽の特徴の一つであることを知る。
	12	郷土の祭りや芸能 世界の諸民族の音楽	それぞれの芸能が生まれた背景を知り，その音楽の良さを味わう。 世界各地さまざまな民族の音楽を知り，声や楽器の音色の特徴を感じ取る。
	1	箏の表現を生かして	箏の表現を味わい，深めながら，特徴を生かして活動

3		鑑賞 オペラ 声部の重なり方の理解と表現の工夫	する。 物語の進行を理解し、音楽と舞台が一体となって表現される総合芸術に親む。 ユニゾンや和声的・多声的な音の重なりによって生み出される味わいを感じ取り、それぞれにふさわしい表現を工夫する。
	2		
	3		

評価について	
評価の観点	評価の方法
① 知識・技能	授業への取り組み ワークシート等 定期考査
② 思考・判断・表現	授業への取り組み ワークシート等 定期考査
③ 主体的に学習に取り組む態度	授業への取り組み ワークシート等 定期考査